

平成30年度 10月号その2

生活指導だより

練馬区立練馬東小学校
平成30年10月12日
校長 山田 美鈴

☆SNS家庭ルールについて

夏休みの宿題だったSNS家庭ルールの保護者からのコメントです。たくさんのコメントありがとうございました。SNSは携帯電話やパソコンだけではなく、テレビゲームなども含まれます。今後SNSと上手く付き合っていくためにもルールを決めて使用するよう御協力をお願いします。

<p>① 宿題などをやったあとであれば30分 ② 1日1回まで(毎日はやらない) ③ 一人でやらない ④ 電気を付けて明るい所でやる ⑤ 寝る前にはやらない (1年生はルールのみ作成しました。)</p>	<p>① 一日のスマートフォン・テレビの使用時間は4・5時間まで ② スマートフォン・ゲームをしていい時間は9時まで ③ 自分の情報はアップしないこと (6年)</p>
---	--

夏休みが始まった頃は、時間が過ぎてもやったり、食事中も画面を見ようとする姿が見られたが、だんだん守れるようになりました。後半にはゲームをやる姿はあまり見られなくなったので、今後も約束を守って遊んでほしい。
(2年)

平日働いているため、全てに対し見ていたわけではありませんが、本人の申告では、できていたとのこと。まずはルールを意識するところかと思しますので、引き続きルールを踏まえてSNSに関与できればと思います。
(3年)

ゲームやSNSは、学年が上がるにつれてより身近な物になると思います。話し合ってお互いに納得した上で先にルールを決めておけるよい機会になりました。
(4年)

たまに調べものをするために、夜インターネットを利用することはありましたが、それ以外は、きちんとルールを守ることができました。夏休みは、忙しかったこともあり、ゲームはほとんどやらずに過ごすことができました。
(5年)

休み中は暑かったので、家にいることが多かったのですが、決めたルールをきちんと守って遊ぶことができました。
(すずしろ学級)

お休み中、子供たちからスマホが欲しいと、色々と提案がありました。確かに便利さ、役立つことも多く、持たすことを考えたりもしましたが、利点・欠点を話し合い、今回は子供たちも納得して、見送ることにしました。今後も成長に合わせそのつど話し合い、我が家なりの結論を考えたいと思っております。
(6年)



☆9月の引き取り訓練のふりかえりについて

9月の引き取り訓練では、通学路の危険な場所調べに御協力ありがとうございました。今回の調査を通して学校・家庭・地域で連携しながら、防災力を高めていきたいと思っております。

今年は他の地域での地震をはじめいろいろな災害がとても多いので、引き取り訓練などの大切さをもっと以上に感じました。帰り道の危険な所も探すといろいろあるので、日頃からの意識・準備・話し合いなどしっかりやっていたらよかったと思います。一人で家にいることがうちの場合はないかもしれませんが、本人としてはテーブルの下にという事が今までの訓練で覚えた中の一つだと思うので、忘れずにいざとなった時行動できるように家の方でも教えていかなければいけないなと思いました。(すずしろ学級)

地図の×印をつけた通りは、とても細く、塀や建物が一つでも倒れたら通れなくなると思いました。(普段は車が少ないので安心ですが…)もし家に一人でいた場合、避難経路確保のためドアや窓を開けるようにするか迷いました。(1年)

幸い通学路には大きな「危険」はありませんでした。ただ、先日の北海道の地震を見ると、思いもよらないものが倒れたり、飛んできたりすることがあるんだなと思いました。近所に親しい家庭があるので、仕事で留守の時に大きな災害があったら助けてもらうように頼んであります。(2年)

東日本大震災を仙台で経験しているため、家の中の安全には気を付けています。当時は非常持出袋を用意してあり、実際に持って避難所に行ってみると、ペットボトルの水や乾パンの賞味期限が切れていたの、それ以降は常に賞味期限をチェックするようにしています。賞味期限切れの水は捨てずに取ってあり、非常時にトイレを流したり、洗い物に使おうと思っています。割れた食器を処分する際には、紙製の米袋が丈夫で使えるので、こちらもお米を買ったときには捨てずに取ってあります。家にいるときであれば安心ですが、登下校時に地震が発生するのが一番心配なので、子供ともよく話したいと思います。(3年)

普段、何気なく歩いていた道でも、引き取り訓練後に気を付けてみたら、危険な場所が何カ所もあり、子供たちに注意するようにと伝えることができたので、よい機会になりました。(4年)

高学年になり、留守番をすることが増えてきたので、一人の時にでもどういう行動をとったらよいか考えるよい機会だったと思います。通学路はほぼスクールゾーン内で短く、幸いあまり危ないものも少ない道ですが、色々注意を払うきっかけになったのではないのでしょうか。これからも自分で考え、行動できるよう、家庭で話し合っていきたいと思います。(5年)

娘が、大震災級の地震を経験したのは、まだ4才であまり記憶が無いかと思えます。だからこそ、震災に対する心構えを具体的にコミュニケーションを取り合い、詰めていきたいと思えます。表の地図を見ても、塀のある家が多く、そういった所も危険な箇所だと教える必要があると感じました。尚、娘より防災グッズを常備しようという要望がありました。(6年)

※大阪北部地震後、区で行われた通学路の危険箇所の緊急点検のアンケートを行った際には、具体的に御返答いただきありがとうございました。御指摘の箇所については、全て区の方に報告いたしました。